

令和7年度

障がい者支援施設 幸養苑

事業報告

- 施設入所支援事業
- 短期入所
- 生活介護事業
- 自立訓練（生活訓練）

社会福祉法人 清養会

【事業報告内容】

- ・ 幸養苑 事業報告 [1 ページから 4 ページ]
- ・ 令和 7 年度 施設利用実績
(生活介護・施設入所・短期入所)
- ・ 令和 7 年度 主要行事等実施状況
- ・ 令和 7 年度 幸養苑施設内研修実施状況
- ・ 令和 7 年度 外部研修実施状況

[参考資料]

- ・ 福祉サービス自己評価結果
- ・ 利用者満足度調査結果

「障がい者支援施設 幸養苑」事業報告

1. 運営方針と実施概況

障がい者支援施設幸養苑は、ご利用者の権利擁護および意思決定支援の充実を運営の核に据え、地域に根差した障害福祉サービスの拠点としての機能強化を図ってきた。本年度は、令和8年度から義務化される「入所施設のご利用者全員に対する地域生活への意向確認」を見据え、その実効性を担保するための体制整備を最重点課題として取り組んだ。感染症の集団発生という困難な事態に直面したものの、その教訓を組織的な対応力の向上へと繋げ、ご利用者が主体性を発揮し、笑顔で暮らせる環境の構築に邁進した一年であった。

2. 重点方針の実施結果

(1) 地域生活移行の促進と意思決定支援の展開

・体制整備と実施状況

地域移行および施設外日中サービス利用の意向確認を適切に行うため、意向確認担当者の選任および「意向確認マニュアル」の作成・整備を完了した。これにより、個々の障害特性や判断能力に配慮した丁寧な聞き取りを行う体制を整えた。

・地域での体験機会の提供と実績

一部のご利用者に対し、将来の地域生活を見込んだ地域での宿泊体験や、他事業所の見学、地域活動への参加を実施した。実際の地域社会での生活場면을体験することで、ご利用者自身の具体的な生活イメージの形成を支援した。

・今後の組織的な対応方針

大部分のご利用者への取り組みは次年度以降の継続課題であるが、一連の体験支援を通じ、ご利用者の多様な希望を実現するためには、自法人において受け皿となるグループホームを設置することが不可欠であるとの結論に至った。これを受け、法人内でのグループホーム設置に向けた具体的な建設計画および準備を本格的に開始する。

(2) 地域連携と事業運営の透明性確保

・地域連携推進会議の開催

1月に、当施設として初回となる「地域連携推進会議」を開催した。外部委員を交えた本会議の設置により、事業運営の透明性をより一層高め、地

域に開かれた施設運営を具体化させた。

- ・権利擁護の推進

同会議を通じ、ご利用者の地域移行の促進や権利擁護の推進に向けた外部視点による提言を受け、施設運営の客観性を担保するとともに、地域社会との連携深化を図った。

(3) 虐待防止および身体拘束の適正化

- ・専門研修の実施

職員の専門性向上と権利擁護の徹底を目的とし、外部研修「リーオンミー」を活用したオンデマンド研修を継続した。全職員が受講を完了し、視聴後のレポート提出を通じて、個々のご利用者に対する支援の理解度と現場での実践意識を組織として把握、確認した。

- ・委員会の運用

「虐待防止委員会」および「身体拘束適正化検討委員会」を事業計画に基づき定期開催した。委員会の開催により、支援の客観的な振り返りと、ご利用者本位の視点に立った支援技術の向上を図る体制を堅持した。

(4) 感染症対策と健康管理体制

- ・集団感染への対応

本年度は、6月にノロウイルス（ご利用者9名、職員2名）、8月にインフルエンザ（入所ご利用者21名、通所系ご利用者3名、職員8名）の集団感染が発生した。この事態を重く受け止め、11月には「青森県感染対策特別研修会」を施設内で開催した。実際の発生事例に基づいた実践的な演習を行うことで、職員の危機管理能力と二次感染防止技術の底上げを図った。

- ・医療連携の状況

新興感染症対応に係る協定締結医療機関との連携強化については、今年度中の締結には至らず、次年度の最優先課題として継続する。

- ・健康管理の実績

年2回の定期健康診断および予防接種を確実に実施し、ご利用者の基礎的な健康維持と疾病の早期発見に努めた。

3. 基本的な支援および行事の実施状況

(1) グループ活動（生活介護）

- ・作業、身辺介護、創作活動、高齢者支援等の各グループにおいて、個別の支援計画に基づいた活動の提供に可能な限り努めた。しかしながら、継続的な人材不足により、当初の計画通りの活動展開が困難な場面も多く、

状況に応じた一時的な対応をせざるを得ない状況が続いた。人材確保と効率的な人員配置が、支援の質を維持する上での喫緊の課題となっている。

(2) 自立訓練（生活訓練）事業の廃止について

・自立訓練（生活訓練）については長年利用希望者が不在の状況が続いており、休止している状況だった。また今年度、複数の退職者が出たことにより、事業を実施するための体制維持が困難となったこともあり、令和7年度をもって事業を廃止することとした。

(3) 地域交流と社会参加の促進

・地域交流行事を開催し、青森工業高等学校ねぶた部との交流や抽選会を実施した。当日は雨天であったが、多数の地域住民や関係者の参加を得ることができた。地域社会との接点を維持し、社会参加の機会を確保した。

(4) 食事提供と QOL の向上

・ご利用者の嗜好や栄養状態に配慮し、バイキング形式の昼食やセレクトメニュー、季節に応じた行事食を計画通り提供した。食事を通じた生活の潤いと選択の機会を確保した。

4. 総括と次年度に向けた課題

(1) 総括

本年度は、令和8年度からの「地域生活への意向確認」の完全義務化を見据えた重要な転換期として、体制整備と実践に注力した一年であった。

運営面では、意向確認マニュアルの策定や担当者の選任を完了させ、一部のご利用者に対しては地域生活を見込んだ宿泊体験や見学を実施するなど、実効性のある意思決定支援の第一歩を踏み出した。また、初めて開催した「地域連携推進会議」を通じて、外部の視点を取り入れることで事業運営の透明性を高め、地域に開かれた施設としての基盤を構築した。

一方で、現場運営においては厳しい局面も存在した。6月と8月に相次いだノロウイルスおよびインフルエンザの集団感染は、感染症対応力のさらなる強化が必要であることを浮き彫りにした。また、継続的な人材不足の影響により、日中活動（グループ活動）において当初の計画通りの展開が困難となり、一時的な対応を余儀なくされる場面が続いたことは、次年度に解決すべき喫緊の課題として残された。

(2) 次年度に向けた課題

今年度の成果と課題を踏まえ、次年度は以下の項目を重点的に推進する。

1. 全ご利用者への地域移行意向確認の初回完了と GH 設置の推進

令和 8 年度の義務化に向け、すべてのご利用者に対し適切な意思決定支援に基づいた初回の意向確認を完了させる。さらに、体験支援を通じて明確になった「地域における受け皿の不足」に対応するため、自法人によるグループホーム設置計画を具体的に加速させ、ご利用者の多様な希望を実現する体制を整える。

2. 人材確保と職場環境の改善および専門性の向上

支援の質を維持・向上させるため、継続的な求人活動とともに、外部研修（リーンオンミー）等を活用した効率的な研修体系を定着させる。職員が心身ともに健康で、専門性を発揮できる職場環境の整備を最優先事項として取り組む。

3. 感染症対応体制の確立と医療連携の強化

今年度の集団感染の教訓をマニュアルに反映させ、協力医療機関との具体的な連携体制（協定締結）を早期に確立する。定期的な訓練（シミュレーション）を通じて、新興感染症発生時における組織的な即応力を高める。

4. 地域社会との共生と透明性のさらなる向上

地域連携推進会議の運用を継続・深化させ、地域住民や関係機関とのネットワークを強固にする。地域交流行事の充実を図るとともに、福祉避難所としての機能維持など、地域の一員として信頼される施設運営を推進する。

令和7年度 施設利用実績

1 契約状況について(入退所状況等)

(1)施設入所支援

退所利用者2名

①長期入院されていた女性利用者が医療行為が可能な市外の事業所へ入所することとなり、6月に幸養苑退所。

②8月24日に男性利用者が病気による急死。同日退所。

新規入所利用者1名

ご両親の病気や逝去に伴い、家庭での養育が困難となり令和6年5月から短期入所を継続利用されていた女性利用者1名を施設入所へ。

(2)通所系支援(生活訓練及び生活介護)

①新規利用者

なし

②退所利用者

2名

①他事業所の施設入所利用に伴い契約解除

②1月に急逝したことにより契約解除

2 各事業の利用人数

【令和7年3月現在の利用者数(利用契約数)】

事業名	男性	女性	合計	定員	平均障害程度区分
施設入所	21	9	30	30	5.5
生活介護	42	19	61	49	5.5
自立訓練(生活訓練)	0	0	0	6	
短期入所…定員 6名 ・ 併設型					

3 日中活動利用状況

【年間開所日数…269日】

(1)生活介護

注…生活介護定員49名から算出した利用率。※自立訓練(生活訓練)は対象者なしのため稼働していない

月	利用率(稼働率)	延べ利用数	1日あたりの平均利用者数	月間開所日数
4月	100.8%	1087	49.4	22
5月	98.6%	1111	48.3	23
6月	102.3%	1103	50.1	22
7月	100.9%	1137	49.4	23
8月	85.1%	959	41.7	23
9月	99.1%	1068	48.5	22
10月	101.4%	1143	49.7	23
11月	97.2%	1048	47.6	22
12月	98.1%	1106	48.1	23
1月	90.3%	1018	44.3	23
2月	89.0%	872	43.6	20
3月	94.2%	1062	46.2	23
合計	96.4%	12714	47.2	269
定員	49名			
利用者実数(契約数)	61名			
特記事項	・8月→インフルエンザ集団感染 (感染者数…入所利用者21名・通所系利用者3名・職員8) ・2月→大雪の影響により2日～10日まで通所送迎を休止。			

【参考】 過去日中活動全体利用数(生活介護 定員49名。自立訓練は休止中)

月	延べ利用数	1日あたりの平均利用者数
令和5年度	13645	50.5
令和6年度	12987	48.4

4 施設入所支援利用状況

月	利用率(稼働率)	延べ利用数	1日あたりの平均利用者数	月の日数
4月	98.4%	886	29.5	30
5月	98.7%	918	29.6	31
6月	98.4%	886	29.5	30
7月	98.7%	918	29.6	31
8月	97.1%	903	29.1	31
9月	94.6%	851	28.4	30
10月	101.7%	946	30.5	31
11月	98.6%	887	29.6	30
12月	98.0%	911	29.4	31
1月	98.4%	915	29.5	31
2月	98.7%	829	29.6	28
3月	98.3%	914	29.5	31
	98.3%	10764	29.5	365
定員	30名			
利用者実数(契約者数)	30名(男性21名・女性9名)			
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・6月→長期入院中の女性利用者退所 ・8月→に男性利用者が病死により退所。 ・10月→長期で短期所されていた女性利用者が施設入所利用開始 			

【参考】 過去利用状況

令和5年度	94.0%	10326	28.2	366
令和6年度	94.5%	10350	28.4	365

令和7年度 短期入所利用実績

月	利用率(稼働率)	延べ利用数	1日あたりの平均利用者数	月の日数	緊急受け入れ件数
4月	86.7%	156	5.2	30	3
5月	86.6%	161	5.2	31	1
6月	87.2%	157	5.2	30	1
7月	79.6%	148	4.8	31	2
8月	61.8%	115	3.7	31	3
9月	60.6%	109	3.6	30	0
10月	71.5%	133	4.3	31	4
11月	73.9%	133	4.4	30	3
12月	74.2%	138	4.5	31	3
1月	62.9%	117	3.8	31	1
2月	55.4%	93	3.3	28	0
3月	67.2%	125	4.0	31	1
合計	72.3%	1585	4.3	365	22

- ・6月→長期利用者1名が他事業所の施設入所利用開始に伴い利用終了。
- ・8月→インフルエンザ集団感染発生。
- ・10月→長期利用者1名が幸養苑施設入所利用開始に伴い利用終了。
- ・10月→ご家族の事情により、家庭での療育が困難となった方の長期利用開始。
- ・2月→大雪の影響もあり、利用のキャンセルが相次いだ。

令和5年度	77.6%	1703	4.7	366	15
令和6年度	100.4%	2198	6.0	365	31

令和7年度 主要行事等実施状況について

1 実施概要について

引き続き感染症対策を講じながら、以前の内容に近い形で実施するよう努めた。また、幸養苑で実施した行事への参加の他、他事業所の行事参加や希望に応じて個別での外出を計画・実施した。

2 主な行事実施状況

※花見会（4月）

4日間に分けて活動G毎に実施。合浦公園に出かけ、散策や買い物を楽しんでいた。雨天によりドライブと外食にて対応したグループもあった。

※かき氷祭り（8月5日実施）

夏を味わってもらうため、かき氷等準備し利用者に楽しんでもらった。

※地域交流会（9月13日実施）

屋台や縁日コーナー・お楽しみ抽選会・各福祉施設の販売等の内容で実施した。雨天での実施となったが、青森大学三味線部や青森工業高校ねぶた部にも参加していただき、お囃子等の演奏をしていただいた。

※クリスマス会実施（12月23日実施）

苑内で実施することで場所的にもスペースが限られてしまう関係上、感染症対策に考慮しながら、外部者（保護者・ボランティア等）の参加は行わず、利用者及び職員のみで実施。カラオケやプレゼント提供等の内容で実施した。

※1月8日餅つき会・2月3日節分については、衛生面・密にならないよう感染予防対策に配慮しながら、実施した。

※入所利用者対象に誕生日会を毎月実施。対象者へケーキとジュースを提供し、記念撮影をするなどお祝いしている。

令和7年度 幸養苑施設内研修実施状況

【上半期】

研修区分	主旨・内容等	対象者	実施予定日	備考
感染対策研修	感染症対策と蔓延防止	全職員	4月1日～20日	スペシャルラーニングによる 動画視聴及びレポート提出 4月1日～20日
初任者研修※新規採用の場合	1 施設職員としての心構え 2 障害者支援の基礎 3 意思決定支援、虐待防止について	新規採用職員	4月3日、4月11日	講師→苑長 ※一部スペシャルラーニング活用
	4 障害特性について 5 利用者個々の特性、個別支援体制等について		4月3日、4月11日	講師→サビ管
虐待防止研修	虐待防止の理解と実践	全職員	5月27日 虐待防止委員会	スペシャルラーニングによる 動画視聴及びレポート提出 5月1日～20日
定例研修	障害福祉サービスの理解 講師：横山サビ管、(苑長)	全職員	6月24日	スペシャルラーニングによる 動画視聴及びレポート提出 6月1日～20日
定例研修	障害福祉サービスの動向 ～全国的障害福祉関係施設長等会議より～ 報告者…苑長	全職員	7月17日	スペシャルラーニング 「知的障害がある方の自立とは」 動画視聴及びレポート提出 7月1日～20日
定例研修	適正な意思決定支援のあり方について ～地域移行に関する意向調査のあり方等～	全職員	8月1日～20日	スペシャルラーニングによる 動画視聴及びレポート提出 8月1日～20日
虐待防止研修	「身体拘束の適正化」等について	全職員	9月25日 虐待防止委員会 (身体拘束適正化)	スペシャルラーニングによる 動画視聴及びレポート提出 9月1日～20日

【下半期】

研修区分	主旨・内容等	対象者	実施予定日	備考
感染対策研修	感染症対策と蔓延防止の実践 「青森県感染対策特別研修会」	全職員	11月20日	スペシャルラーニングによる 動画視聴及びレポート提出 11月1日～16日
定例研修	「業務継続計画(BCP)の確認と実践」	全職員	12月1日～20日	スペシャルラーニングによる 動画視聴及びレポート提出 12月1日～20日
階層別研修	「現状と課題の整理」 「次年度に向けて」 等	支援関係職員 [リーダー級以上]	随時	※フリートーキング
その他	※虐待防止研修、感染症予防研修については、ケヤキとの合同研修 ※個別支援会議等は、必要に応じて随時実施。(→原則として、対象となるご利用者も参加)			

令和7年度 障がい者支援施設 幸養苑 外部研修等実施状況

(1) 資格取得等関係研修等

研修等名	開催予定日	開催場所等	主催先	参加数
強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)		オンライン	ホットラインワールド	オンラインで申し込んだが、規程人数に達せず未実施。
サービス管理責任者基礎研修	2月および3月	オンライン	東北福祉カレッジ	2名(黒滝・赤石)

(2) 施設外一般研修

研修等名	開催予定日	開催場所等	主催先	参加予定数
青森県知的障害者福祉協会総会	令和7年5月12日	青森市内県民福祉プラザ	青森県知的障害者福祉協会	2名(船橋、横山)
青森県障害児・者新任研修	令和7年5月14日	青森県立保健大学	青森県	2名(須藤、荒内)
東北地区知的障害者福祉協会総会・施設長等連絡会	令和7年6月16日～17日	山形県山形市 山形テルサ	東北地区知的障害者福祉協会	1名(船橋)
東北フォーラム	令和7年12月16日～17日	青森市 リンクステーションホール青森	東北地区知的障害者福祉協会	1名(長内)
全国知的障害関係施設長等連絡会議	令和7年7月10日～11日	東京都 東京国際フォーラム	日本知的障害者福祉協会	1名(船橋)
障害者支援施設部会全国大会	令和7年12月17日～18日	愛知県 ウィンクあいち	日本知的障害者福祉協会	1名(船橋)
日中活動支援部会全国大会	令和7年12月4日～5日	新潟県 ANAクラウンプラザホテル新潟	日本知的障害者福祉協会	2名(横山・雪田)
全国知的障害関係職員研究大会	令和7年11月27日～28日	福島県 ビッグパレット福島	日本知的障害者福祉協会	1名(黒滝)
青森県知的障害者福祉協会新任職員研修	令和7年6月25日	青森市 水産ビル	青森県知的障害者福祉協会	1名(鳴海)
青森県知的障害者福祉協会中堅職員研修	令和7年10月6日	青森市 アピオ青森	青森県知的障害者福祉協会	1名(赤石)
青森県感染対策特別研修会	令和7年9月20日	青森市 アスパム	青森県	2名(船橋・長内)
【備考】				

〔障害福祉サービス事業所版〕

評価実施シート【自己評価用】

職員用

作成日（完成日）	令和7年度
施設・事業所名	

評価実施シートから自己評価を実施する場合の記入手順

- 評価分類に対する事業所の取組状況を確認するため、「評価の項目」記載の取組について、
 - すべて実施が確認できた（満たしている）ときは「できている」
 - すべての実施が確認できないときは「できていないところがある」
 - すべて実施されていないければ「できていない」
 から選択し、評価欄へ○を付けます。
- 評価分類については、◆ねらいと（留意点）、評価に関しては、評価項目を参照してください。
- すべての評価分類について確認をしたら、共通評価対象領域ごとに、「力を入れている点、工夫している点など」と、「改善する必要があると考える点」について、記載します。

共通評価対象領域	
(サービス実施に関する項目)	1 サービスマネジメントの確立
	2 人権の尊重
	3 意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供
	4 サービスの適切な実施
(組織マネジメントに関する項目)	5 運営上の透明性の確保と継続性
	6 地域の交流・連携
	7 職員の資質の向上と促進

○回答者属性（どちらかに”○”をつけてください）

	管理者層	1名
	一般職員	22名
	男子	14名
	女子	9名
	提出者	23名
	未提出者	1名
	(対象者)計	24名

評価実施シート(自己評価用:職員用)

【サービス実施に関する項目】

1 サービスマネジメントシステムの確立

評価分類		評価					評価項目
		できている	できていないところがある	できていない	未記入	計	
(1)	サービスの開始・終了時の対応が適切に行われている。	4	18	1	0	23	利用者等(利用希望者を含む)に対してサービス選択に必要な情報を提供している。
							サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。
							サービスの利用開始後に、利用者の不安やストレスが軽減されるような支援を行っている。
							事業所の変更や地域への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。
(2)	手順を定め、その手順に従ってアセスメントを行い、サービス実施計画を策定している。	3	15	5	0	23	手順を定め、その手順に従ってアセスメントを行っている。
							個別支援計画を適正に策定している。
							状況に応じて個別支援計画の評価・見直しを行っている。
(3)	サービス実施の記録が適切に行われている。	11	10	2	0	23	利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。
							利用者に関する記録の管理体制が確立している。
							利用者の状況等に関する情報を職員間で共有している。
(4)	提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。	6	14	3	0	23	提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。
							標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。
(5)	利用者の安全を確保するための取組が行われている。	8	12	2	1	23	災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。
							災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。
							利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。

力を入れている点、工夫をしている点など	改善する必要があると考える点
<ul style="list-style-type: none"> 職員間の情報共有を密にしている。また、記録(文字)だけでなく実際に対応した人から口頭で聞く事で職員とのコミュニケーションも図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 記録や情報が一部の人でしか共有されていない時がある。 個別支援計画や対応の変更に関する連絡を漠然とした内容ではなく具体的かつわかりやすい言葉にする。

評価実施シート(自己評価用:職員用)

【サービス実施に関する項目】

2 人権の尊重

評価分類		評価					評価項目
		できている	できていないところがある	できていない	未記入	計	
(1)	サービスの実施にあたり、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重している。	6	17	0	0	23	日常生活の支援にあたっては、個人の意思を尊重している。
							利用者を尊重したサービス提供について共通の理解を持つための取組を行っている。
							虐待の防止・早期発見のための取組を行っている。
(2)	利用者のプライバシー保護を徹底している。	10	13	0	0	23	利用者に関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、利用者の同意を得るようにしている。
							利用者の気持ちに配慮した支援を行っている。

力を入れている点、工夫をしている点など	改善する必要があると考える点
	・呼び方

評価実施シート(自己評価用:職員用)

【サービス実施に関する項目】

3 意向の尊重と自律生活への支援に向けたサービス提供

評価分類		評価					評価項目
		できている	できていないところがある	できていない	未記入	計	
(1)	利用者の意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる。	4	15	4	0	23	利用者満足の把握に向けた仕組みを整備している。
							利用者満足の向上に向けた仕組みを整備し、サービス向上に取り組んでいる。
(2)	利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	2	19	2	0	23	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。
							苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。
							利用者からの意見等に対して迅速に対応している。
(3)	個別支援計画等に沿った、自立した生活を送るための支援を行っている。	4	16	3	0	23	利用者と円滑なコミュニケーションをとるための支援や工夫をしている。
							エンパワメントの視点に立って、利用者の自力で行う日常生活上の行為に対する見守り・支援を行い、主体的な活動を尊重している。
							利用者一人ひとりを受容し、個別性に配慮した働きかけや支援を行っている。
力を入れている点、工夫をしている点など		改善する必要があると考える点					
利用者によって支援の行い方を考え行っている。							

評価実施シート(自己評価用:職員用)

【サービス実施に関する項目】

4 サービスの適切な実施

評価分類	評価					評価項目
	できている	できていないところがある	できていない	未記入	計	
(1) 利用者の健康を維持するための支援を行っている。	11	11	1	0	23	日常の健康管理が適切である。 必要時、迅速かつ適切な医療が受けられる。 内服薬・外用薬等の扱いは確実に行われている。
(2) 【食事の提供を行っている事業所のみ】栄養のバランスを考慮したうえでおいしい食事を楽しく食べられるように工夫している。	14	9	0	0	23	個別の支援計画に基づいた食事サービスが用意されている。 食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本として美味しく、食べられるよう工夫されている。
(3) 【施設入所支援・宿泊型自立訓練】利用者一人ひとりの状況に応じて生活上に必要な支援を行っている。	5	16	2	0	23	安眠できるように配慮している。 入浴は、利用者の希望や介助方法など個人的事情に配慮している。 排泄介助は快適に行われている。 利用者の個性や好みを尊重し、衣服の選択や整髪等について支援している。 新聞・雑誌の講読やテレビ、嗜好品(酒、煙草等)等は利用者の意思や希望が尊重されている。
(4) 【施設入所支援】利用者の自主性を尊重し、日常生活が楽しく快適になるような取組を行っている。	4	16	3	0	23	余暇・レクリエーションは、利用者の希望に沿って行われている。 外出は利用者の希望に応じて行われている。 外泊は利用者の希望に応じるよう配慮されている。
(5) 【生活介護】日常生活上の支援や生活する力の維持・向上のための支援を行っている。	6	15	2	0	23	一人ひとりの目的に応じた創作的活動、生産活動等の支援を行っている。 自分でできることは自分でできるよう働きかけている。 【工賃を支払っている事業所のみ】工賃等の仕組みについて、利用者に公表し、わかりやすく説明している。
(6) 【自立訓練(機能訓練・生活訓練・宿泊型)】利用者が自立した生活を送ることができるよう、機能訓練や生活についての相談等の支援を行っている。	5	13	5	0	23	利用者が意欲を持てるような取組を行っている。 サービス期間内に目標とする力を身につけることができるよう支援を行っている。 サービス終了後の生活環境(住居及び就労先等)を想定し、支援を行っている。
力を入れている点、工夫をしている点など		改善する必要があると考える点				
・歩行運動など進んで声掛けを行い一緒に取り組んでいる。						

評価実施シート(自己評価用:職員用)

【組織マネジメントに関する項目】

5 運営上の透明性の確保と継続性

評価分類		評価					評価項目
		できている	できていないところがある	できていない	未記入	計	
(1)	事業所が目指していること(理念・基本方針)を明確化・周知している。	6	15	2	0	23	理念・基本方針を明示している。
							理念・基本方針について、職員の理解が深まるような取組を行っている。
							理念・基本方針について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取組を行っている。
(2)	実践的な課題・計画策定に取り組んでいる。	5	14	4	0	23	理念・基本方針の実現に向けた中・長期計画が策定されている。
							中・長期計画を踏まえた年度単位の事業計画が策定されている。
							事業計画の策定が組織的に行われている。
							事業計画が職員に周知されている。
							事業計画が利用者等に周知されている。
(3)	管理者は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている。	8	11	4	0	23	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。
							質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。
							経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。
(4)	質の向上に向けた取組が組織的に行われている。	5	12	6	0	23	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。
							評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。
(5)	経営環境の変化等に適切に対応している。	5	12	6	0	23	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。
							経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。
力を入れている点、工夫をしている点など		改善する必要があると考える点					

評価実施シート(自己評価用:職員用)

【組織マネジメントに関する項目】

6 地域との交流

評価分類		評価					評価項目
		できている	できていないところがある	できていない	未記入	計	
(1)	地域との関係が適切に確保されている。	7	13	3	0	23	地域社会に対して、開かれた組織となるよう、事業所に関する情報を開示している。
							事業者が有する機能を地域に提供している。
							ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。
(2)	地域の福祉向上のための取組を行っている。	6	12	5	0	23	関係機関・団体との定期的な連絡会等に参画している。
							地域の関係機関・団体の共通の課題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。
							地域の福祉ニーズを把握するため事業・活動に参加している。
力を入れている点、工夫をしている点など		改善する必要があると考える点					

評価実施シート(自己評価用:職員用)

【組織マネジメントに関する項目】

7 職員の資質の向上の促進

評価分類		評価					評価項目
		できている	できていないところがある	できていない	未記入	計	
(1)	事業者が目指しているサービスを実現するための人材構成となるよう取り組んでいる。	6	11	6	0	23	必要な人材や人員体制に関する具体的な考え方が確立している。
							具体的なプランに基づく人材の確保に取り組んでいる。
							遵守すべき法令・規範・倫理等を正しく理解するための取組を行っている。
							職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格など)が連動した人材マネジメントを行っている。
							実習生の受入れと育成が積極的に行われている。
(2)	職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	7	13	5	0	25	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。
							個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。
							定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。
(3)	職員の就業状況に配慮がなされている。	7	10	6	0	23	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。
							職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。
力を入れている点、工夫をしている点など		改善する必要があると考える点					

評価実施シート(自己評価用:職員用)

【サービス実施に関する項目】

4 サービスの適切な実施

評価分類	評価			評価項目
	できている	できていないところがある	できていない	
(1) 利用者の健康を維持するための支援を行っている。	○	○	○	日常の健康管理が適切である。
				必要時、迅速かつ適切な医療が受けられる。
				内服薬・外用薬等の扱いは確実に行われている。
(2) 【食事の提供を行っている事業所のみ】栄養のバランスを考慮したうえでおいしい食事を楽しく食べられるように工夫している。	○	○	○	個別の支援計画に基づいた食事サービスが用意されている。
				食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本として美味しく、食べられるよう工夫されている。
(3) 【施設入所支援・宿泊型自立訓練】利用者一人ひとりの状況に応じて生活上に必要な支援を行っている。	○	○	○	安眠できるように配慮している。
				入浴は、利用者の希望や介助方法など個人的事情に配慮している。
				排泄介助は快適に行われている。
				利用者の個性や好みを尊重し、衣服の選択や整髪等について支援している。
				新聞・雑誌の講読やテレビ、嗜好品(酒、煙草等)等は利用者の意図や希望が尊重されている。
(4) 【施設入所支援】利用者の自主性を尊重し、日常生活が楽しく快適になるような取組を行っている。	○	○	○	余暇・レクリエーションは、利用者の希望に沿って行われている。
				外出は利用者の希望に応じて行われている。
				外泊は利用者の希望に応じるよう配慮されている。
(5) 【生活介護】日常生活上の支援や生活する力の維持・向上のための支援を行っている。	○	○	○	一人ひとりの目的に応じた創作的活動、生産活動等の支援を行っている。
				自分でできることは自分で行えるよう働きかけている。
				【工賃を支払っている事業所のみ】工賃等の仕組みについて、利用者に公表し、わかりやすく説明している。
(6) 【自立訓練(機能訓練・生活訓練・宿泊型)】利用者が自立した生活を送ることができるよう、機能訓練や生活についての相談等の支援を行っている。	○	○	○	利用者が意欲を持てるような取組を行っている。
				サービス期間内に目標とする力を身につけることができるよう支援を行っている。
				サービス終了後の生活環境(住居及び就労先等)を想定し、支援を行っている。
(7) 【就労移行支援】就労に向けて、必要な知識の習得や作業能力の向上のための訓練等の支援を行っている。	○	○	○	利用者一人ひとりがその人にあった働き方をできるような支援を行っている。
				サービス期間内に就労に結びつくことができるように支援を行っている。
				就労先企業の開拓を行うなど、利用者が力を発揮できるよう就労先に結びつくことができるように支援を行っている。
				就労後も利用者一人ひとりに応じて職場定着等の支援を行っている。
(8) 【就労継続A・B型】就労の機会の提供や、知識の習得及び能力向上のための支援を行っている。	○	○	○	利用者一人ひとりがその人にあった取組ができるよう支援を行っている。
				働くうえで必要な知識の習得及び能力向上のための支援を行っている。
				賃金(工賃)等のしくみについて、利用者に公表し、わかりやすく説明している。
				商品開発、販路拡大、設備投資等、賃金(工賃)アップの取組を行っている。

力を入れている点、工夫をしている点など	改善する必要があると考える点

令和7年度利用者満足度調査

利用者（入所・通所）	62名
入所（男子）	21名
入所（女子）	9名
通所（男子）	22名
通所（女子）	10名
提出	58名
未提出	2名
実施不可	2名

1 利用者本位のサービスについて

		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	未回答	計
あ	職員は丁寧にせっしてくれていますか	13	12	26	5	2	0	58
い	他の人に知られたくない秘密を守られていますか	10	11	30	5	2	0	58
う	職員はあなたがしたいことをよく聞いてくれますか	15	5	25	9	4	0	58
え	あなたが希望することを職員にきがるに言えますか	10	9	26	9	4	0	58
お	職員はあなたが希望することをよく聞いて対応してくれますか	8	7	26	12	5	0	58
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・なんでも知りたいです ・個別外出でカラオケや外食、コンビニへ行きたいです 							

2 利用計画について

		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	未回答	計
あ	あなたへの利用計画をつくるとき、あなたがしてほしいことをよく聞いてくれましたか	10	8	29	8	3	0	58
い	利用計画についてわかりやすい説明はありましたか	7	7	31	7	3	3	58
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・外出を多くしたい ・言いたいことは諦めず職員にしゃべります ・なにもかもそくばくされる 							

3 サービス内容について

		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	未回答	計
あ	食事はおいしいですか	18	8	21	3	7	1	58
い	食事の献立（メニュー）に満足していますか	15	6	21	11	4	1	58
う	食事の量に満足していますか	13	7	24	11	2	1	58
え	入浴はあなたの希望を聞いてますか	18	6	23	6	2	3	58
お	生活に必要な支援（介助）を十分うけてます	13	12	25	3	1	4	58
か	あなたが使う物が汚れたときに、すぐにきれいにしてくれますか	13	16	23	4	2	0	58
き	身だしなみについて、ああなたの希望や相談を聞いてくれますか	13	7	35	2	1	0	58
く	日頃から、ああなたの体の調子を聞いてくれますか	15	8	32	3	0	0	58
け	体調がわるいとき、よく対応してくれていますか	14	13	26	3	2	0	58
こ	外出は、あなたの希望に応じてくれますか	9	7	27	10	5	0	58
さ	行事や活動予定など必要な情報がえられていますか	15	13	23	4	3	0	58
し	必要なイベントなどの情報はえられていますか	12	9	30	5	2	0	58
す	毎日の生活で、あなたのしたいことなどについてみんなと話し合っていてできていますか	8	8	25	8	4	5	58
せ	あなたがやってみたいと思う活動になっていますか	11	9	25	7	6	0	58
そ	活動は、楽しいですか	13	5	29	5	5	1	58
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・うどんを食べたい ・ねぶたを見たい ・食事量を増やして欲しい ・温かい食事にしてほしい 							

4 その他

コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・もっとメロディ絵本を増やしてほしい ・女子利用者Yさんと違うバスや活動場所にしてほしい ・自分の思いを伝えられるようにがんばります ・自由がほしい ・家族に会いたい
------	---